



広島大学



大学案内 | 2018-2019

100年後にも世界で光り輝く大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR FOR YEARS INTO THE FUTURE

広島大学は2013年度に、文部科学省「研究大学強化促進事業」に採択され、

2014年度には文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」のタイプA(トップ型)に採択されました。

教育力強化と研究力強化を両輪とした大学改革により、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を持続的に輩出し、

知を創造する世界トップ100の総合研究大学を目指します。



広島大学長
越智 光夫



広島大学基本理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、
理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。

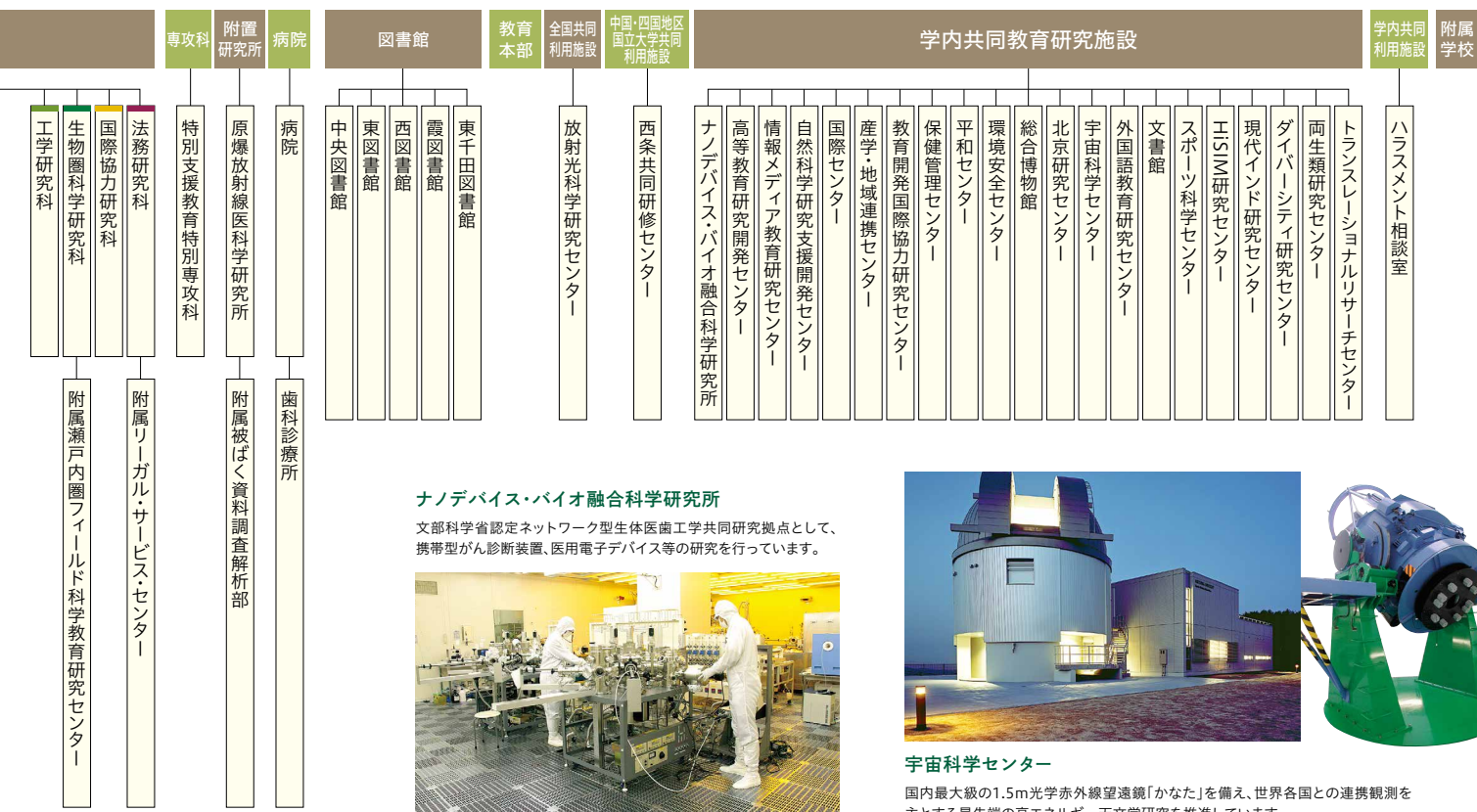


CONTENTS

03	広島大学OVERVIEW	20	学生支援
05	特集対談	21	社会連携
09	情報科学部 & 総合科学部国際共創学科	23	財務
11	研究 研究者 研究施設・研究拠点	24	広島大学の講演・講義
15	学部教育・大学院教育	25	キャンパスガイド 広島大学カレンダー クラブ・サークル 広島大学の諸施設
17	国際交流	29	データ・沿革
19	入試	30	立地・アクセス



建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。
また、世界各国の大学と大学間国際交流協定を結び、各地に海外拠点を設置するなど、海外ネットワークを強化し、
世界にチャレンジするグローバル大学として着実に歩みを進めています。



ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

文部科学省認定ネットワーク型生体医歯工学共同研究拠点として、携帯型がん診断装置、医用電子デバイス等の研究を行っています。



宇宙科学センター

国内最大級の1.5m光学赤外線望遠鏡「かなた」を備え、世界各国との連携観測を主とする最先端の高エネルギー天文学研究を推進しています。



カリフォルニア大学バークレー校と大学間協定を締結（平成29年11月）



広島大学グアナファトセンターを開設（平成29年3月）

国際交流協定

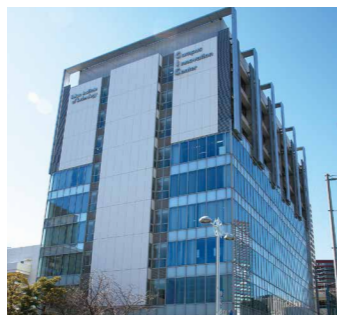
大学間	50カ国・地域 280機関 309協定
部局間	51カ国・地域 334機関 367協定

県外オフィス

東京オフィスは教職員の活動や本学学生の就職活動を支援するほか、大阪・福岡オフィスでは入学相談などを行っています。

●東京オフィス

東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスインベーションセンター409号



●入学センター 大阪オフィス

大阪府大阪市北区中之島4-3-53
大阪大学中之島センター503号

●入学センター 福岡オフィス

福岡県福岡市博多駅東2-5-1
アーバンネット博多ビル4階123号

附属学校

広島高等師範学校や広島師範学校などを前身校とする広島大学の附属学校の基本理念と役割は、「学内外の人の発達を支援すること」です。大学の学びに接して社会で幅広く活躍できる児童・生徒を育てるとともに、大学生の教育実習先として質の高い教員の養成に寄与しています。

●広島市



附属小学校



附属中学校
附属高等学校



附属東雲小学校



附属東雲中学校

●東広島市



附属幼稚園

●三原市



附属三原幼稚園



附属三原小学校

●福山市



附属福山中学校
附属福山高等学校



附属三原中学校



大隅良典氏

東京工業大学 栄誉教授

YOSHINORI OHSUMI

PROFILE

1945年福岡県生まれ。東京大学教養学部を卒業後、同大学大学院理学系研究科博士課程を経て、米国ロックフェラー大学、東京大学、岡崎国立共同研究機構、自然科学研究機構そして2009年からは東京工業大学特任教授。2014年に同大学栄誉教授の称号を受けた。2006年、日本学士院賞を受賞。2015年、ガードナー国際賞を受賞。2016年には、日本人として4人目のノーベル生理学・医学賞を受賞。

)) 特集対談 ((

広島から、

東京工業大学の大隅良典栄誉教授は、オートファジー（細胞の自
2018年5月、広島大学情報科学部・総合科学部国際共創学科の

父や兄、そして恩師。 縁の人々につながる広島

越智 九州大学工学部教授を務められたお父様の大隅芳雄先生は広島市のご出身と伺っております。

大隅 父の家は広島市中心部の白島にありました。父は8人きょうだいの末っ子で、「この子ぐらいは大学へ行かせてやろう」ということで、広島高等師範学校附属中学校

(広島大学附属中学校・高等学校の前身)を卒業し、山口高校を経て東京帝国大学工学部に入りました。

1945年8月6日の原爆の日にも、父は広島に来ていました。たまたまその日は宮島の親戚宅に泊まっていた、次の日、市内に入り親戚をずっと探し歩いたようです。つらかったのだと思うのですが、父はあまり語ることはありませんでした。間違いなく二次被爆をしていたと思います。

越智 お兄様の大隅和雄先生(東京女子大学名誉教授)も広島高師附属中学校に在学されていたそうですね。

大隅 私と12歳違う兄は戦時中、広島高師附属中学校に設置された「特別科学学級」で理科教育を受けていました。原爆投下時、そのクラスは山間に疎開していて被爆を免れました。そういう時代背景もあって、兄は東大に進み、歴史学者になりました。私が小学校に入った頃、大学生だった兄は休暇で帰省するたびに科学の本を買ってきてくれました。今振り返ってみると、そのことがこの道に進むのにかなり影響したのではないかと思います。

また、私の恩師で東大名誉教授だった今堀和友先生も広島高師附属中学校の卒業でした。広島では有名な学者一家で、お兄様の今堀誠二先生は広島大学教授、広島女子大学長を歴任されました。広島にはご縁を感じています。



越智 今堀誠二先生は原水爆禁止運動でも活躍されました。私も学生の頃、広島大学の教養部長だった今堀誠二先生に何度かお会いしたことがあります。

当時まだ新しい学問だった 生物学に魅力を感じて 分子生物学へ

越智 ところで、子どもの頃はどんな夢をお持ちでしたか。

大隅 研究者や科学者になろうかなということを漠然と思っていました。素晴らしい才能に恵まれた人ならいろいろなチョイスがあるのですが、私はスポーツは駄目だし、絵もうまくないし、特別なものはないわけです。ですから引き算的に、研究者が一番向いているのではないかと、小さい時から自分なりに自覚していたように思います。

越智 その頃から生物学の研究を目指していらっしゃったのですか。



大隅 私は福岡の田舎で育ち、小学生の頃は虫好きで昆虫採集に明け暮れていました。畑で作物を育てたり、山に行って何か採ってきたりするの当たり前前の生活でした。そういう意味で生物はとても身近にありましたが、生物学にはまったく興味がなくて、高校の理科でも生物ではなく物理、化学、地学を取っていました。

しかし大学に入ると、長い歴史がある物理や化学はある意味で確立されているので、

わくわくすることがない。それに対して生物学は当時、新しいことがどんどん分かってくるといって、まさに発展途上の学問で、別に権威もないわけです。生物学の基本原理が解かれていくことが非常に魅力的に映り、分子生物学をやりたいと思ったんです。

越智 東京大学では教養学部で新しくできた基礎科学科に進まれたのですね。

大隅 基礎科学科は、教養課程を受け持つ教養学部の先生方が学部生を教え、大学院

大学の将来を語る。

食作用)の仕組みの解明により、2016年ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

設置記念講演会で来広されたのを機に、科学と大学の在り方などをめぐって越智光夫学長と語り合いました。

越智 光夫

広島大学 学長
MITSUO OCHI

PROFILE

1952年愛媛県生まれ。1977年広島大学医学部卒業。整形外科医。1996年世界初の三次元自家培養軟骨移植を開始し、2004年に内閣府の日本学術会議会長賞を受賞。2007年～2011年、広島大学病院院長を務める。2015年広島大学学長に就任。同年、紫綬褒章を受章。広島東洋カープのチームドクターとして30年間にわたり選手を支えている。



生を持ちたいという意気込みが高かった時代にできました。4年生も物理、生物、英語を勉強するという面白い学科だったんです。新しさに憧れていた優秀な学生が集まっていた、今にして思えば、とても良い学科でした。50人ほどのクラスでしたが、最終的に医者や弁護士になった人もいれば、物理、数学、化学、生物などの大学の先生になった人もかなりいます。日本の教育システムが改革される中で、ある種先取りしていた学科だったのかなと思いますね。残念ながら今、基礎科学科はなくなってしまったのですが、ヘテロ(異種)な人間が集まるというのは大学にとってとても大事なことだと思います。

越智 多様性を受け入れる学科というイメージですか。

大隅 そうですね。昨年、50年ぶりに同窓会があり27人集まったのですが、さまざまな人生を歩んできた人がさまざまな分野で活躍

大隅 とても良い方向性ですね。多くの大学で教養部が廃止されたことは、非常に大きなダメージがあったと思います。高校生にとっても、何をするのかよく分からないまま学科を選べというのは、そもそも酷な話です。東大は教養学部を残しましたが、大学1、2年で自分が何をやりたいのかを見つけ、その後に学科を決める方が、よほど正しい選択ができるのではないかと思います。

若者が社会問題に関心を 持つことが大切

越智 まさに大学で先生が生物学に目覚められたこと、また当時、生物学や分子生物学が黎明期にあったことはよく理解できました。ところで学生生活で、たとえばクラブ活動と学問のエネルギー配分はどのようにさ

としていることの方が、むしろ異常ではないかと。社会的な問題に若者が関心を持っていることは、とても大事だと思うのです。研究者も「自分がどういう意識で、どういうことからここにいるのだ」ということを少し考えてみる余裕がほしいと思います。

越智 先生がおっしゃるように、単に楽しい生活を追い求めるのではなく、社会に対する問題意識を持つことや、自らを顧みることが必要ですね。

「大学の就職予備校化」を憂う

大隅 私は「大学の就職予備校化」という言葉で説明しているのですが、そもそも「何がやりたい」というよりも、企業に入ることが人生の目標になっている学生が多いように思います。せっかく修士課程に入っても、その2年間で就職活動で終わってしまい「まあ、いいや」という風潮になっているのではないかと。実は修士の時こそ、良い論文を書くよりも「科学って面白いな」と感じる経験をしてほしいのに、その前に就職が決まってしまうのです。それは大学にとっても社会にとっても深刻な問題だと思います。

私の所属している東京工業大学でも、優秀な学生は理学系でなく工学系に行って、修士で企業に入るというルートが固まっています。学生もそれを当たり前のこととして受け入れているようです。東大でも就職しやすいことが最大の選択肢になっている雰囲気があります。

越智 それを切り崩すためには、大企業や官公庁が何割かは博士(Ph.D.)を採用するような仕組みが必要だと思います。しかし、大企業トップの方々と話すと「マスター(修士)で十分」とか「Ph.D.は特化しすぎてあまり役に立たない」、「Ph.D.は期間採用にし、必要とする企業等を異動すれば」などと言われるわけです。ニワトリが先か、卵が先か、ということもありますが、まず社会の仕組みから変えていく必要があると思います。

大隅 私も財団(大隅基礎科学創成財団)を立ち上げたので、企業のトップの方と話をする機会があります。中には「このまま行ったら日本が空洞化する」という危機感を持っている人も間違いなくいます。そういう人たちは「Ph.D.を採用していかないといけない」と明確に思っておられます。ただ、多数ではありません。企業なり大学なりがー



2018年5月に開催された、本学情報科学部・総合科学部国際共創学科設置記念講演会で「半世紀の研究を振り返って思うこと」と題し、講演する大隅博士。「研究は自ら考え、責任を持って遂行する中でさまざまな驚きや喜びがある。与えられた課題でも、自分なりに咀嚼して新しい問題を見つけてくる視点がとても大切」と、高校生を含む約360人の聴衆に語りかけた

していたのだということを改めて感じました。

越智 広島大学の総合科学部も文理融合です。入学してからいろいろな方向に進める機会を与えています。今年、総合科学部に新たに設けた国際共創学科も、基礎となるリベラルアーツをしっかり学んだ上に専門性を身につけるようにしています。授業は英語で行い、半年間の海外留学を義務づけています。その中でいろいろ考えて大学院などで専門性を持ってもらったらいいいのではないかと考えています。

れたのですか。

大隅 私が学部から大学院に入った時期は大学紛争の華やかな頃でした。実験室で実験していたことはほとんどなかった時期もあったと思うほど、毎日デモに参加していました。クラブ活動をする事自体はとていいなと思うのですが、われわれの頃は、そんな余裕がない時代でした。そういう意味ではとても特異な時代だったと思います。しかし顧みると、今のうちに日本の大事な問題が国会で議論されていても学生がシーン



記念講演会后、本学越智学長より特別荣誉教授の称号楯を受け取る大隅博士

つの典型を作って「やはり、こちらの方がいい」ということを示さなければ変わらないだろうと思っています。

越智 確かにそうですね。先生は「今のサイエンスも競争の世界になり、本当の意味の科学する楽しさが失われている」と発言されていますが、日本の大学や科学の将来をどのようにお考えですか。

大隅 今、大学は良くも悪くもいろいろな試みをせざるを得ません。そうした試みを行って「こういうことをしたら、実際に良いことがあった」と言うためには、長期的に見ていかなければいけない。単なるネーミングで大学が変わったというようなことをずっと強いられてきた中で、本当に良いことを守るとするのは難しくなっています。

「何かを変えないといけない」というプレッシャーは、科学研究費補助金(科研費)でも同じですね。良い研究でも同じことを続けていたら「それはもうやったじゃないか」と言われて、変えることが目標ようになって研究者がすごくエネルギーを使っている現実があります。「大事なものは守る」と大学人が出て行って言わなければいけないのに、大きな大学は先走っているいろいろな新しいことをやり「他の大学はついて来い」という姿勢です。このままなら日本の大学は先が暗いというのが率直な思いです。

大学は地道な学問の面白さに 気づく場所

越智 先生にとって「あの人に会ったから、今の自分がある」という人生の師はいらっしゃいますか。

大隅 不遜な言い方かもしれませんが、私は「この先生のようにになりたい」と思ったことはあまりないんです。だから「私のようになりなさい」という気はさらさらなし、研究室でも「みんな勝手に育っていきなよ」という感じです。もちろん、小学校時代の先生、発見のある会話ができた先生や研究を面白いと言ってくれる仲間が私の周囲にいてくれて、今の自分があると思っています。

越智 松下幸之助氏は入社試験の時に「あなたは運がいいですか」と尋ね、「運が悪い」と答えた人はどんなに成績が良くても不採用にしたという有名な話があります。人に感謝することの大切さを指摘しているのだと思います。先生は、今の学生に大学で何を学んでほしいと思われますか。

大隅 私が学生だった50年前に比べれば、情報量が格段に多くなっています。ありとあらゆる情報がすぐに手に入ることは素晴らしいのですが、同時に、自分でやりたいことが見えにくい時代になっています。実は、情報に人間がどう立ち向かうかということは

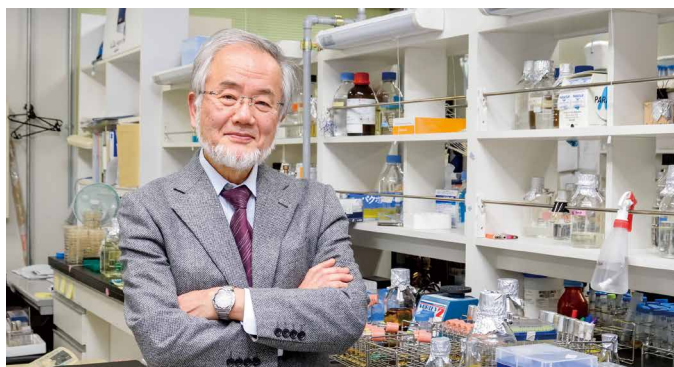
とても大事な問題なのに、あまり議論されてこなかったように思います。

たとえば、生物学のスタンダードとされる教科書を読んで、知識を詰め込むことが勉強ではありません。何か一つのことを深掘りして、そこから自分が「これは勉強したい」ということを勉強するスタイルを身につけないと、世の中の膨大な情報を自分で処理できないのではないかと考えています。大事なのは自分で考え、自分の考えを持つことです。外国の人たちと接すると、そこはとてもかなわないという気がします。

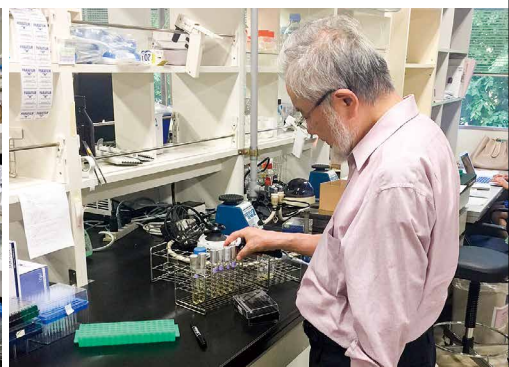
越智 私も国際学会の理事長や理事をやってみて思うのは、英語でのディスカッションの中でリーダーシップを取り、みんなの意見を集約していける日本人があまりにも少ないことですね。謙虚さとか「意見を言わない」ことは日本人の美德とされてきましたが、これからのグローバル社会の中では生きていけない。チャレンジする国際的教養人を育てようと今春、留学生と一緒に英語で学ぶ国際共創学科を総合科学部に開設しました。最後に若者へのメッセージをお願いします。

大隅 今、大学の書店にはハウツー本がずらりと並んでいます。私が大学に入った頃は文学書もあったし哲学書もありました。ぜひ自分とは少し異なる観点から人間社会を見ろということをしてほしいと思います。最先端のところに飛びつくことも時にはいいけれど、古典と言われる本を読む機会を持つことは、日本人に一番欠けている心の余裕にもつながるものです。「地道にこつこつやる学問は結構面白い」ということが見えてくることが、大学では実は大事なのではないかと思っています。

越智 私自身も、学生たちがもう少しいろいろなことに興味を持って、理系であっても文学や哲学の本を読むなど、幅広く素養を培ってほしいと願っています。本日は示唆に富むお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



大隅研究室(東京工業大学)にて。学生には、一つのことを深掘りし、そこから勉強したい、面白いと思えることを見つけるスタイルを身につけてほしいと話す



文理融合の新学部・新学科

情報科学部 情報科学科

◎情報の知識・技術を存分に高めるカリキュラム

◎企業で活躍する実務家や外国人教員の講演も実施

◎第1期生の4割が文系から入学

夢は女性視点の 情報スペシャリスト

進

学先として以前から広島大学を志望していて、当初は薬学部を目指していました。しかし高校の情報科で好成績を収めたり、友人たちが苦心している課題でも、あまり難しいと感じなかったりといった経験を重ねるうちに情報分野の学習が楽しくなり、自分に向いていると思うようになりました。またアプリを使って独学で楽曲編集をするなど、パソコンなどのIT機器を使った創作活動が好きだったこともあり、情報科学部を志望することに決めました。またITベンチャー企業を舞台に、システム開発プロジェクトなどを描いたテレビドラマを観て、憧れの気持ちを抱いたことも情報科学分野に進みたいと思ったきっかけの一つです。将来は、人々の暮らしをより便利にするシステムやサービスを開発することが目標です。データサイエンス、インフォマティクスのどちらのコースに進むかは、これからの2年間でじっくり考えていきたいと思っていますが、今はシステムアーキテクトに興味を持っています。データやシステムを理解し、問題解決に活用できる女性技術者はまだ少なく、私はアパレルや化粧品などの業界で、情報システムのスペシャリストとして働きたいと考えています。クライアントの潜在的な課題を引き出すなど、コミュニケーション力も求められる情報分野は、実は女性に向いているとも言われています。女性ならではの視点や特性を生かしたデータコンテンツ・情報処理のスペシャリストを目指して、私たちと一緒に学びませんか。

情報科学部 情報科学科 1年次生

清水 沙南

(広島県出身)

ここが
ええね！
広大

自習スペースが充実しています

図書館のグループワークスペースや学生プラザなど、自習スペースが校内にたくさんあります。自分のペースで学習できる場所がすぐに見つかるところが気に入っています。



情報科学のオールラウンダーでかつ スペシャリストである人材を育成

広島大学情報科学部では、全学生がデータサイエンスとインフォマティクスの基礎を学んだ上で、3年次以降の専門履修コースに進みます。情報科学のオールラウンダーとしての能力と、データコンテンツ・データ処理テクノロジーの専門知識・技術を備えたスペシャリストとしての能力を兼ね備えた人材を育てます。



情報科学部
DATA

- 数学やデータ解析・プログラミング等の基礎科目を通じて、情報にかかわる専門的知識・技術を修得します。最新のデータ・情報科学分野の理解を深め、かつ国際性を身につけるため、通常の講義とは別に企業の実務家や外国人教員による学部生向け講演会を実施しています。
- 25都道府県(中四国・九州地域の他に、東京都、愛知県、福井県、京都府、和歌山県など)から85名が1期生として入学しました。
- 定員/80名(平成31年度) ●志願倍率/3.5倍(平成30年度実績)
- 入学者数/85名(平成30年度実績。85名のうち一般入試(前期日程)77名:A型(文系)33名、B型(理系)44名)

が2018年4月にスタート

◎授業は基本的にAll Englishで実施

◎2年次に半年間の海外留学

◎第1期生44名中15名が外国籍をもつ学生

総合科学部
国際共創学科
(IGS)

私

がIGSを志したきっかけは、高校時代に広島県のプログラムに参加し、フィリピンでの海外研修を体験したことです。事前にフィリピンの貧困・格差について学習した上で渡航したのですが、実際は私の想像をはるかに超えていました。現地ではスラムの写真も撮ったのですが、思わずカメラから画像データを消去してしまいました。目を背けてはいけないと思いながらも、その悲惨な状況に対して何もできない無力感にいたたまれなくなったのです。またフィリピンでは、国際開発金融機関であるADB(Asian Development Bank, アジア開発銀行)の本部や、貧困が続く農村部で活動するNGOの視察も経験しました。トップとボトムの関係となる双方の組織を見て感じたのは、互いが噛み合っていないこと。貧困の現場から必死に訴えても、トップが重視するのは都市部の発展で、それぞれが空回りしているように見えました。私は以前から教育に関心があるのですが、さまざまな分野を世界的な見地から多角的に学べるIGSなら、途上国の貧困や発展、教育行政を自分の研究フィールドにできるのではと考えました。そして将来は途上国に赴き、トップとボトムをつなぐ教育行政の担い手になりたいと思っています。大学に進学する年にIGSが新設されたことは本当に幸運でした。スラムで感じた無力感から始まった夢ですが、途上国の人々の役に立てる日を目指し、これからの4年間で全力で学んでいきたいと思います。

総合科学部 国際共創学科 1年次生

神田 実鈴

(広島県出身)



ここが
ええね!
広大

さまざまなバックグラウンドを
持つ人と出会えます

IGSをはじめ、広島大学には多くの国や地域から、学生が集まっています。互いに異なる文化を持つからこそ生まれる会話やアイデアに、毎日刺激を受けています。

IGSアンバサダー活躍中

学生と教員、IGSと他学部・他学科を結ぶ「懸け橋」としての役割を担う「IGSアンバサダー」。現在は週に1回ミーティングを開催し、ゆかたまつりや大学祭など、学内のイベントにIGSとしてどのように関わっていくかを模索しています。来春の新入生を迎えるためのオリエンテーションイベントも企画中です。

IGS
DATA

- アメリカ、スペイン、インドネシアなどから15名の外国籍をもつ学生を含む44名が入学しました。
- 入学から卒業まで、基本的に授業を英語で行います。
- 日本人学生は、2年次後期に半年間留学します(留学期間を含めて4年間で卒業)。
- 専門科目では「文化と観光」、「平和とコミュニケーション」、「環境と社会」の3つの視点を中心に学びます。

途上国に暮らす
人たちの役に立ちたい



かなえたい夢がある

最先端研究が開く、明日への扉

1

山や川、そして海の環境を改善して 循環型社会の形成に役立つ研究をしたい

生物生産学部／大学院生物圏科学研究科 教授

山本 民次

TAMIJI YAMAMOTO

広島大学水産学部(現 生物生産学部)卒業、東北大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学。農学博士。日本学術振興会奨励研究員、愛知県水産試験場技師、本学生物生産学部助教授などを経て2004(平成16)年より現職。専門は水圏生態系の環境保全・修復・再生。森・川・里・海から成る「流域圏」の底質を改善し、生物が生き残ることができる状態に戻すための具体的な手法の開発に力を注いでいる。

私

の研究は、総じて言うとうちから海へ水が流れていく「流域圏」を対象にしたものですが、現在は沿岸域の環境を再生する製品や技術改善に取り組んでいます。流域圏とは、山から私たちが暮らす里を含む川へ水が流れ、海へ注ぐという一連のつながりがある場所を指します。流れる川にはさまざまな物質が含まれ、やがて行き着く海には汚れが溜まっていきます。沿岸域の海底にはヘドロが沈殿しているものの、40年近く前から続けられてきた環境省の総量規制によって、水質汚濁や富栄養化による赤潮の発生などは大きく改善され、きれいな海になってきました。しかし、新たな問題も発生しました。それは、海がきれいになった代わりに生物のエサが少なくなってしまうということです。実際、広島湾で養殖しているカキの生育状況はかなり深刻な状況に置かれています。

つまり、カキや魚介が育つ海には適度な栄養バランスが必要なのです。海底に堆積したヘドロは水(とそこに含まれる酸素)が通りにくく、猛毒の硫化水素を発生させてしまいます。そしてゴカイや二枚貝といった魚のエサになる生物がいなくなり、魚が減少していくのです。そこでまず、溜まったヘドロの状態を改善しなければならないと考え、研究に取り組んできました。これまでに、日本一の生産量を誇る広島「カキ殻」や、鉄鋼業の副産物である「スラグ」を利用して硫化水素を抑制する製品を開発してきました。

そして、もう一つ。火力発電所から出る「石炭灰」を造粒したヘドロ改善材があります。約15年前から取り組み始め、研究や実証実験を繰り返しながら開発した石炭灰造粒物は、多孔質で硫化水素を吸着するとともに、窒素やリンといった栄養分を海に補う機能を持ち合わせています。したがって、このリサイクル材を海底に撒くことで硫化水素の発生が抑えられ、海の栄養バランスを保つことにつながるのです。この研究は、2018年度の文部科学大臣表彰の科学技術賞(開発部門)に選ばれました。

こうしたカキ殻や鉄鋼スラグ、石炭灰などの素材には共通点があります。それは、そのままの状態では産業廃棄物であるということです。廃棄物を環境改善に役立つ機能を持つものにリサイクルする。それを製品化すれば廃棄物が有価物となり、経済活動へとつながっていく。それが私の研究の特徴の一つだと思います。科学技術賞の受賞は、研究成果を認められたという喜びであるのはもちろんですが、廃棄物に対する人々の認識を変えていく上でも大きな意味があると思います。

環境改善を通して循環型社会の形成に役立ちたいと考えている私のかなえたい夢は、広島県沿岸の波打ち際に細かく砕いたカキ殻を敷き詰め、南国のような白い海岸線を作ることです。カキ殻の主成分はサンゴと同じ炭酸カルシウム。きれいになった海水の透明度を実感できる海にして、多くの人々に楽しんでもらいたいと考えています。



瀬戸内海の底質改善施工に向けた現地調査風景。



施工後に採取した底泥コアサンプル。



ヘドロが堆積した海底の環境を改善する石灰灰造粒物。



カキ殻を敷きつめて
真白な海岸を造りたい。

ロシア語に翻訳された日本文学作品。左上から『万葉集』、『源氏物語』、松尾芭蕉『作品集』、夏目漱石『作品集』、芥川龍之介『羅生門ほか作品集』、川端康成『雪国』、三島由紀夫『仮面の告白』、安部公房『作品集』、村上春樹『羊をめぐる冒険』。21世紀に入り日露の研究者の協力により現代文学の翻訳が進んでいる。



左：ロシアのサンクトペテルブルクにある国立人類・民族学博物館（クンсткаメラ）。ロシアの日本学は18世紀前半にここから始まったとされる。
右：同館所蔵の日本人漂流民伝来コレクションの一部。右の扇は江戸後期の漂流民・大黒屋光太夫がエカテリーナ二世に献上したものと伝えられる。



文学を通じて
近くて遠い人々ともつながること。
互いの理解をめざして
対話への道をひらきたい。

2 異国への憧れから始まった比較文学の研究を、文学の世界史を作るといふ動きにつなげたい

文学部／大学院文学研究科 教授

溝渕 園子

SONOKO MIZOBUCHI

東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業、同大学院地域文化研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。熊本大学文学部准教授、本学大学院文学研究科准教授などを経て、2018（平成30）年より現職。専門は比較文学。日本とロシアとの関係を主軸に、近現代の言語文化の越境をめぐる諸問題を比較文学的に考察する。異文化表象や翻訳文学などに着目しながら、制度としての文学を問う研究を目指している。

比 較文学とは、複数の地域や言語文化を横断し、文学とは何か、文学そのものについて考え、理解しようとする学問です。私は近現代の日本と、ソビエト連邦時代を含めたロシアの文学的相互関係について、さらに翻訳や異文化表象について研究を進めています。

比較文学では、比較対象となる2つの国や地域だけを取り上げればよいというわけではありません。たとえば、私の専門である日本とロシアの文学では、両国の力学だけでは見えない部分があります。ソ連時代の文学研究にはアメリカの存在は外せません。そうするとアメリカとソ連、さらには日本とアメリカの関係も追究する必要性が生じて対象となる国や地域が増えていく、比較文学にはこうした広がりがあるのです。

そもそも私がロシアに興味を抱いたきっかけは、子ども時代に当時のソ連から来たボリショイ・バレエ団の公演を観たことでした。当時、新聞やニュースで見聞きするこの

国のイメージは、あまり良いものではありませんでした。そんな国からやって来たバレエ団の絢爛豪華なステージが、私を魅了したのです。そしてこの不思議な国の児童文学を手にとると、そこにはヨーロッパとアジアの雰囲気や、魅力的な物語、響きの面白い言葉にあふれた世界がありました。長じてさまざまなロシア文学に触れるうちに、原文で作品を読みたいという気持ちが高まり、大学でロシアの文学研究を志し、現在に至ります。

比較文学では文学の多様性を重視する一方で、普遍性にも比重を置いています。それぞれの地域や言語の文学に固有の特徴を見つめながら、地域や言語を超えた普遍的なもの、つまり人間が文学を生み出すメカニズムを解明していく学問でもあります。こうした研究の特性上、一人でできることには自ずと限界があります。そこで必要になるのが、他の研究者とのネットワークや共同研究です。文学研究というと「孤独な作業」のイメージを持

たれるかもしれませんが、他者と関わる機会が多く、チーム作業的な一面もあります。

比較文学は19世紀頃に成立した学問ですが、実は新しい学問でもあると思います。たとえば、1990年代以降のグローバル化の影響で翻訳の問題が再び注目されるなど、新たな発見や既成概念の破壊といったスリリングな展開を見せている、古くて新しい分野なのです。こうした中で現在、「世界の文学史」を作るといふ壮大なプロジェクトが進行しています。世界にどんな文学があり、人間の足跡があるのか…。数多の文学に紡がれた一つの織物のようにその歴史を手にとることができたら、そして私の研究が、綾なす一筋の糸になることができたら、どんなに素晴らしいだろうと思います。また文学には、若い頃に読んだ作品でも年齢を重ねて気づく面白さがあります。文学を通じて人生を知り、人生を通じて文学を理解する。こうした奥深さを多くの人々と分かち合うことも、自分のライフワークだと感じています。

学内共同教育研究施設

ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

半導体技術と生物学・医学を融合させ、高度医療保障社会に寄与する技術と人材を創出します。

高等教育研究開発センター

大学内外の研究者の協力を得て、大学・高等教育に関する研究調査を行う国内初の専門機関です。

情報メディア教育研究センター

本学の情報インフラを支え、その適切な利用のための情報教育やICTを活用した教育の支援を行います。

自然科学研究支援開発センター

生命科学・健康科学・物質科学・環境科学などの自然科学系の研究を支援します。

国際センター

外国人留学生の日本語教育をはじめ、国際化に向けた支援および国際交流活動を推進します。

産学・地域連携センター

学術相談、共同研究、知的財産移転、創業支援、人材育成などを通じて産業界や地域に貢献します。

教育開発国際協力研究センター

開発途上国に対する教育分野の国際協力を実践的に研究し、国内外のネットワークを形成します。

保健管理センター

学生と教職員の身体的・精神的健康管理に関する専門的業務を実施します。

平和センター

平和科学に関する研究・調査および資料収集と、平和に関する教育を推進します。

環境安全センター

実験廃液の管理と処理・再利用などの環境安全業務、環境科学・環境工学の教育・研究を行います。

総合博物館

本学所蔵の学術標本資料の調査・収集・保存・管理およびそれらの研究と展示、情報発信をします。

北京研究センター

首都師範大学国際文化学院(中華人民共和国北京市)に設置された本学初の海外教育研究拠点です。

宇宙科学センター

国内最大級の光学赤外線望遠鏡「かなた」を中心に、天体観測の多波長観測研究を推進しています。

外国語教育研究センター

学部共通で行う外国語授業の担当など、外国語教育カリキュラムの企画・立案と実施を管理します。

文書館

本学に関する重要な文書などを収集・整理公開し、教育研究活動ならびに法人文書管理を担います。

スポーツ科学センター

スポーツに関する教育の企画・立案、課外活動の支援、研究および地域社会との連携を行います。

HiSIM研究センター

電子回路設計用世界標準モデルHiSIM®の開発で産業界を先導し、省エネ社会実現に貢献します。

現代インド研究センター

現代インドの空間構造と社会変動について調査・研究し、他研究機関との研究交流を推進します。

ダイバーシティ研究センター

多様な人々がともに力を発揮できるような組織作りについて、企業や自治体等と共同で研究します。

両生類研究センター

実験動物の両生類を飼育・供給すると共に、発生・遺伝・進化の分野で先駆的な研究を展開します。

トランスレーショナルリサーチセンター

医療系のシーズの探索・育成、知財管理、デザイン思考による医療機器開発の人材育成を行います。

※HiSIM(Hiroshima-University STARC IGFET Model)は、広島大学が半導体理工学研究センター(STARC)と共同で開発した回路設計用トランジスタモデル

ゲノム科学などの最先端の基礎研究から、再生医療

など高度な臨床展開に至るまで、「放射線の人体影響」の総合的な研究を推進する、世界的にユニークな附置研究所です。医学・生物系のみならず、数学・統計学や物理学、人文社会系の研究者が集い、教育・研究に携わります。原爆被爆者の医療を半世紀にわたって行う一方、放射線災害・医科学領域の共同利用・共同研究拠点として、全国の研究者・医師と活発な共同研究を進めています。また、広島大学が整備を進める高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターや、放射線災害復興リーダーを育成するリーディング大学院教育にも貢献しています。



原爆放射線医科学研究所

〈附置研究所〉

被ばく者医療と放射線人体影響研究を推進する、世界の教育・研究拠点



光速に近い電子が電磁石によって進む方向を変える時に、

放射光と呼ばれる光が発生します。この光は強力で、しかも、さまざまな波長を含んでいるため、「夢の光」と呼ばれています。本センターでは、主に真空紫外線から軟X線域の放射光を活用した世界オンリーワンの特色ある先端研究を展開し、その研究成果は『Nature』『Science』などのトップジャーナルに掲載されています。また、国内外から大学院生・研究者が集い、共通の研究課題に取り組む国際的な環境を活用し、グローバルに活躍できる理学系人材の育成にも取り組んでいます。なお、本センターは、大学の枠を超えて研究者が集まる共同利用・共同研究拠点として文部科学省から認定されています。

放射光科学研究センター

〈全国共同利用施設〉

夢の光「放射光」で、物質科学の独創的な研究を推進

第一線の研究を支える、特色ある研究施設

世界トップレベルの研究拠点の創出へ

5

ゲノム編集研究拠点

〈自立型研究拠点〉



近

年、狙った遺伝子を改変できるゲノム編集技術が開発され、これまで遺伝子改変が困難だった生物にも利用可能な次世代のバイオテクノロジーとして期待されています。本拠点では、日本独自のゲノム編集ツールを開発し、生命現象解明の新規技術および再生医療や品種改良などの応用技術としての確立を目指します。また、ゲノム編集ツールや改変技術の提供により、日本の生命科学のレベルアップやバイオ産業の活性化を図ります。

6

広島肝臓プロジェクト研究センター

〈自立型研究拠点〉



肝

炎は国内最大級のウイルス感染症で、放置すると肝癌に進行します。近年、抗ウイルス治療の開発は目覚ましく患者の予後は改善されました。しかし、脂肪性肝炎による肝癌の増加など、課題は山積しています。本拠点では、世界に類をみないヒト肝細胞キメラマウスを用いた肝炎ウイルスの研究技術を用い、新たな肝疾患の治療法を開発しています。拠点には臨床医も参画し、研究成果を教育に還元し、高度医療人材の育成に寄与しています。

自立型研究拠点

活発な研究活動を展開する研究拠点を支援し、さらなる発展を促すことで世界的研究拠点の創出を目指します。

■創薬・バイオマーカー拠点

グローバル若手研究者育成と共に革新的創薬およびバイオマーカーの開発を進めます。

■うつ病の革新的診断・治療法開発研究拠点

うつ病の病態に基づく客観的診断法の確立、革新的な新規治療法開発に取り組んでいます。

■窒素循環エネルギーキャリア(Nキャリア)研究拠点

アンモニアを中心とした次世代水素エネルギーキャリアの研究開発を推進します。

■社会実装指向型HiSENS拠点

センシング技術とその社会実装を中心とし、今日の社会に適応した新たな分野融合研究を推進します。

■クロマチン動態数理研究拠点

数理科学による細胞核内構造・動態解析を通して、新たな細胞機能制御研究を開拓します。

■極限宇宙研究拠点

高エネルギー天体現象や初期宇宙状態など、宇宙の極限状態の解明をテーマに研究を行っています。

■基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーショナル型研究拠点

一日本型(発)畜産・酪農技術開発センター—安全で高い生産機能を発揮する先進畜産技術の開発を目的に研究を推進します。

インキュベーション研究拠点

自立した世界的研究拠点へと成長する可能性のある研究拠点を選出し、重点支援を行います。

■MBR拠点

■バイオジェニックナノマテリアル融合研究拠点

■「光」ドラッグデリバリー研究拠点

■プレート収束域の物質科学研究拠点

■次世代を救う広発Green Revolutionを創出する植物研究拠点

■教育ヴィジョン研究センター

■医療経済研究拠点

■エネルギー超高度利用研究拠点

■創発的物性物理研究拠点—対称性の破れから量子位相へ—

■機能的ナノ酸化物研究拠点

■スマートバイオセンシング融合研究拠点

■日本食・発酵食品の革新的研究開発拠点—日本食の機能的開発センター—

■広島大学健康長寿研究拠点

■緊急被ばくに即時対応できる再生医療研究拠点

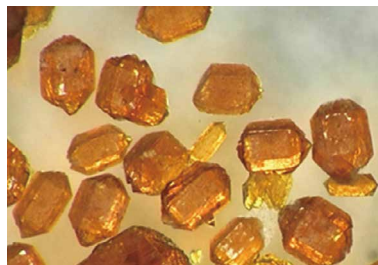
7

キラル国際研究拠点

〈自立型研究拠点〉

自

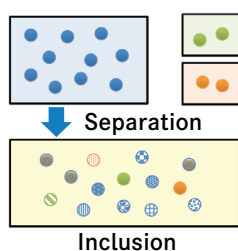
自然科学の世界では、右手と左手のように非対称な形の組をキラリティ(掌)と呼び、そのような関係にあるものをキラルと呼びます。キラリティは素粒子から宇宙構造まで、自然界のあらゆるスケールで幾何構造と運動の概念を包摂する普遍概念として重要な役割を果たしています。しかし現象論的に捉えられるために本質を捉える研究はほとんどされていません。本拠点ではキラル物性やキラル磁性の研究を糸口としてその本質に迫ります。



8

ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点

〈インキュベーション研究拠点〉



創造的成果・社会的繁栄

社

会、ジェンダー、障がいの程度、民族や文化的背景、価値観など、さまざまな属性において異なる多様な人々で構成されています。しかし、一人一人の個性が尊重され、皆が社会や組織に対等に参加できている状態(インクルージョン)が実現されているとは言えません。本研究拠点は、人々の多様性(ダイバーシティ)の強みを活かし、組織や社会全体の革新や繁栄に結びつけることを目指して、ダイバーシティ&インクルージョン実現のための理論的・基礎的および実践的な研究を学際的に進めます。

学生の意欲に応える教育システムがある

確かな教育が拓く、広く深い



学部教育

総合科学部／文学部／教育学部／法学部／経済学部／理学部／医学部／歯学部／薬学部／工学部／生物生産学部／情報科学部／特別支援教育特別専攻科

多彩な学部を擁し、幅広い教養と専門分野の知識を身につける、本学独自の教育システム「到達目標型教育プログラム(HiPROSPECTS®)」を導入した高いレベルの教育を展開しています。

学士課程教育の特色

1 広島大学独自の教育システム「到達目標型教育プログラム」 HiPROSPECTS®

ハイプロスペクツ

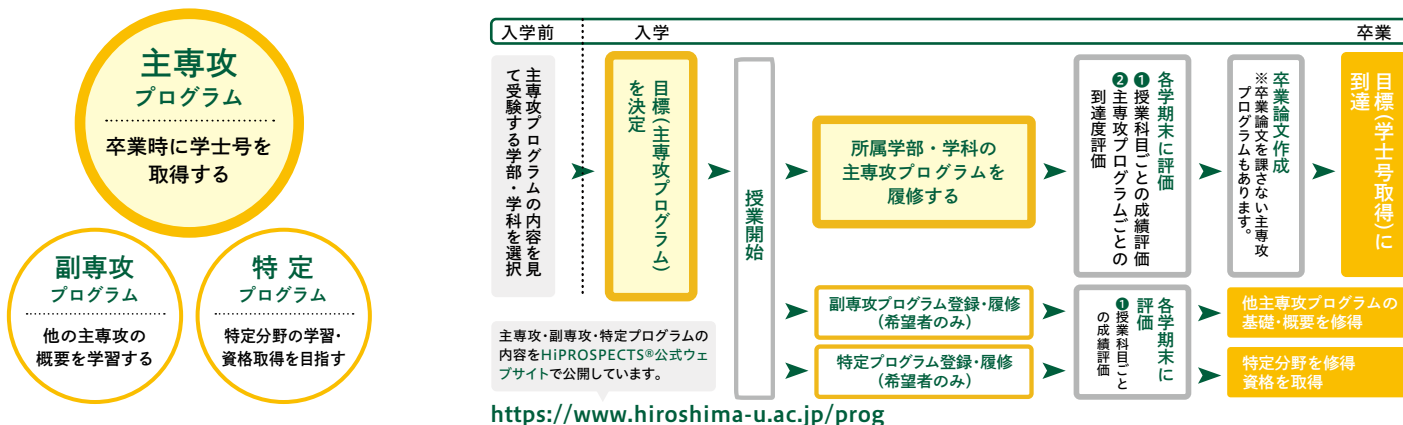
※HiPROSPECTS(Hiroshima University Program of Specified Education and Study)は広島大学の登録商標です。

興味・関心に合わせて学べる 3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、他学部のプログラムも履修できる「副専攻プログラム」、高度な能力の育成や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

それぞれのプログラムで 到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的に到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。



2 TOEIC®L&RIPテスト

社会的・国際的に通用するスコアで英語力を把握

入学時と卒業時の2回、全学一斉に「TOEIC®L&RIP」テストを実施します。社会的・国際的に広く通用するスコアを使って、学生が自らの英語運用能力を確認することができます。本テストのスコアは習熟度別クラス編成や本学英語教育のさらなる改善にも活用しています。

3 理数学生育成支援

学生の能力をさらに引き出す特別プログラム
文部科学省からの委託などにより、理数分野に強い学習意欲を持つ学生の能力をさらに伸ばす事業に取り組んでいます。

大学院進学と研究者養成を前提とする教育

生物生産学部では、文部科学省「理数学生育成支援事業」の「広島大学型アクティブラーニングによる研究者養成特別コースプログラム」(平成23～26年度採択)を継続し、生命・食・環境分野の研究者となる強い意志のある学生のための特別コースを開設しています。

4 大学教育基礎科目

大学で知的活動を行うための能力を育む全学必修科目

4つの科目区分(平和科目・大学教育基礎科目・共通科目・基盤科目)からなる教養教育の中でも、大学教育基礎科目は全学必修。教養ゼミ、大学教育入門があり、大学における知的活動の基礎を身につけます。

学び

AND DEEP LEARNING



大学院教育

総合科学研究科／文学研究科／教育学研究科／社会科学研究科／理学研究科／先端物質科学研究科／
医歯薬保健学研究科／工学研究科／生物圏科学研究科／国際協力研究科／法務研究科

自然科学・人文科学・社会科学のすべての学問分野・研究領域を網羅する11の研究科を設置し、
諸問題を多角的に捉える創造性の育成に注力するとともに、世界で活躍するグローバルな視点を
備えた人材の育成を目指します。

博士課程教育の特色

1 教育研究環境

世界トップレベルの先端的な研究を目指す教員・施設

世界トップレベルの総合研究大学を目指し、特色と個性の光る基盤的・先端的研究を展開しています。各研究科には幅広い分野をカバーする研究室が設置され、学生たちは豊富な教員陣の下で最先端の研究に邁進しています。各研究科附属の研究施設とも緊密に連携し、専門性の高い教育・研究活動を行っています。



帝釈峽遺跡発掘調査(文学研究科)



アフリカツメガエルの複雑なゲノムを解読
(両生類研究センター)

2 大学院共通授業科目

専門の枠を超えた、幅広い教養を獲得

各研究科独自の科目に加え、研究科の枠を超えて自身の専門に限らず幅広い見識を得ることを目的とした「大学院共通授業科目」を提供しています。社会の変化やグローバル化に対応するとともに、社会の各分野で指導的な役割を果たし、国際的にも活躍できる人材の養成を一層促進するための科目を開講しています。

平和に関する授業科目

被爆地「ヒロシマ」に開学し、「自由で平和な一つの大学」を建学の精神に掲げる大学として、寛容と共生の心を養い、平和に対する意識を高めるための科目を開講しています。一部の授業は英語で行われます。



原爆ドーム
(広島市提供)

3 博士課程リーダー育成プログラム

グローバルに行動する、次代のリーダーを養成

従来の学問分野・研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造するグローバルリーダーを輩出することを目的として、研究科を横断する新たな学位プログラム「博士課程リーダー育成プログラム」を開設しました。本学が培ってきた深い専門性を基盤に、独創力、俯瞰力、行動力、問題解決能力を備えるための授業科目や、広島大学マインドを身につけるための共通科目群などを配置。独創的に課題に挑み、幅広い知識をもとに事象を俯瞰し、グローバルに行動する人材を養成します。

放射線災害復興を推進する フェニックスリーダー育成プログラム® (平成23年度 文部科学省採択)

全学の研究科を横断する3コースによる
放射線災害復興専門家の養成

たおやかで平和な 共生社会創生プログラム (平成25年度 文部科学省採択)

全学の研究科を横断する3コースによる
複合領域型(多文化共生社会)教育の実施

- 放射線災害医療コース(4年制)
放射線災害から生命を守る人材を育成

- 放射能環境保全コース(5年制)
放射能から環境を守る人材を育成

- 放射能社会復興コース(5年制)
放射能から社会と子どもを守る人材を育成

- 文化創生コース(5年制)
社会・環境変化や技術革新に適応した文化を創生する人材を育成

- 技術創生コース(5年制)
条件不利地域の文化と社会環境における課題に適応した
科学技術を創生する人材を育成

- 社会実装コース(5年制)
創生される多様な文化と新たな科学技術が均衡するよう
社会に実装する人材を育成

国際交流

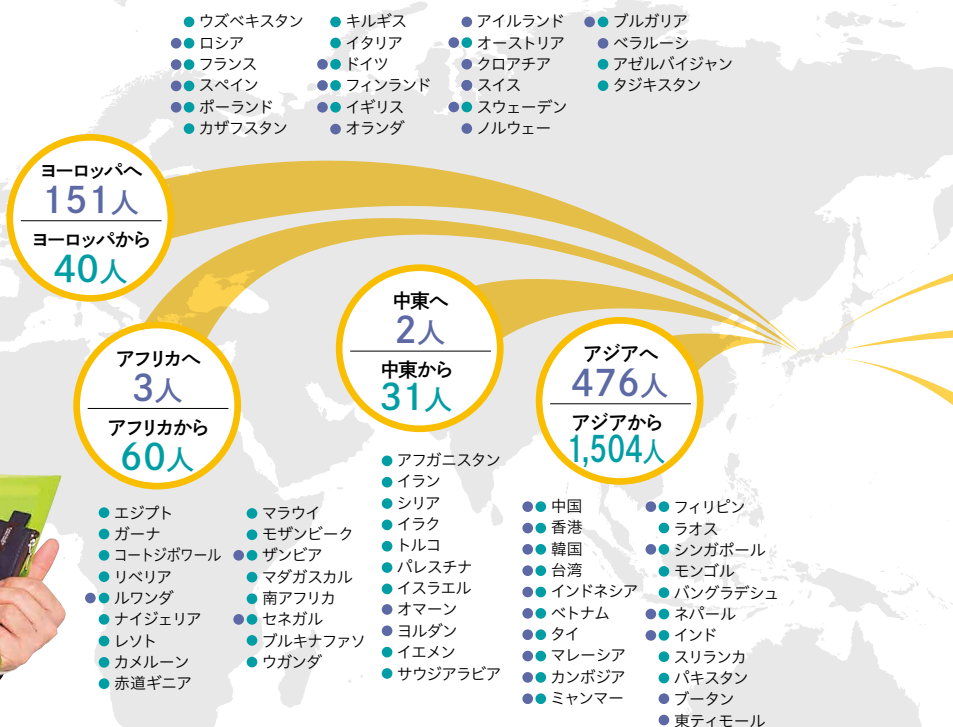
広島大学は、世界をキャンパスとする国際的な教育・研究拠点として、世界各地の教育研究機関と交流協定を締結しています。
世界中から多数の学生が広島大学に集い、また広島の地から広く世界へ、多くの学生を派遣しています。

STARTプログラムで アメリカへ



今まで学習してきた英語を実際に海外で使いたいと思い、アメリカ留学に参加しました。渡航前の事前研修では、留学期間を有意義に過ごすさまざまな講義や支援を受け、初めての留学を楽しむことができました。現地での学生交流は、大学での勉学に対する姿勢に大きな刺激を与えてくれました。ぜひ、このプログラムに参加して、新しい経験に挑戦してみてください。

工学部第三類2年次生
市枝 慶一郎



広大から世界へ

世界42カ国・地域へ935人を派遣（平成29年度実績）

学部1年次生から大学院生までカバーする
多様な海外留学プログラム

導入型プログラム

海外の協定大学で現地学生との交流やディスカッションを通じて異文化を体験し、国際交流や長期留学への関心を高める入門的なプログラムです。

●STARTプログラム

対象 学部1年次生
派遣先 ベトナム、アメリカ、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、タイなど
期間 2週間（長期休業中）

●台湾ショートビジット

対象 学部生・大学院生
派遣先 台湾
期間 10日間（夏季休業中）

など

語学・文化研修プログラム

ヨーロッパやアジア各国の現地語学学校などに留学し、外国語学習や文化体験、学生交流を中心に実施されるプログラムです。

●エクセター大学INTO英語研修プログラム(A)/エクセターアカデミー英語研修プログラム(B)

対象 学部生・大学院生 派遣先 イギリス
期間 1か月間（夏季休業中）

●English Plus ALOHAプログラム

対象 学部生・大学院生 派遣先 ハワイ
期間 3週間（夏季休業中）

●夏季フランス語研修プログラム

対象 学部生（2年次生以上）・大学院生
派遣先 スイス 期間 3週間

●ハンブルク大学ドイツ語サマースクール

対象 学部生 派遣先 ドイツ
期間 1か月間（夏季休業中）

●慶熙大学校夏季韓国語短期研修

対象 学部生・大学院生 派遣先 韓国
期間 3週間（夏季休業中）

●中国語・文化特別研修

対象 学部生・大学院生 派遣先 中国、台湾
期間 2週間または3週間

など

交換留学プログラム

広島大学に在籍しながら交換留学生として、海外協定大学に留学するプログラムです。

●HUSA/USAC®プログラム（交換留学）

対象 学部生・大学院生 派遣先 協定大学 期間 1学期間または1年間

●AIMS-HUプログラム（ASEAN協定大学への交換留学）

対象 学部生 派遣先 タイ、インドネシア 期間 4か月間

●PEACE学生交流プログラム（ASEAN協定大学への交換留学）

対象 指定学部・大学院の学生
派遣先 カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ
期間 10日～1年間（学部・研究科により異なる）

●ILDP（国際リンケージ型学位プログラム）

対象 学部生・大学院生 派遣先 インド 期間 約1週間～半年間

インターンシッププログラム

国際社会で活躍できる研究者と職業人の育成を目的としています。

●G.ecbo海外インターンシッププログラム

対象 大学院生 派遣先 アジア、アフリカなど 期間 1～3か月間

●ベトナム企業インターンシップ

対象 学部生・大学院生 派遣先 ベトナム 期間 2週間

インドネシアから日本語教育の研究を志して広大へ



インドネシア人日本語学習者数は世界第2位ですが、高いレベルの学習者はまだまだ少ないです。彼らのために何かできないかと思い、教育学研究科日本語教育学専攻に入学しました。日本語そのものだけではなく、インドネシアでは学ぶことができない日本語の教授法・評価、学習者の心理・環境・母語・文化などを捉え、充実した日本語教育の研究を行っています。

教育学研究科 博士課程前期 日本語教育学専攻修士2年次生
MUTIA KUSUMAWATI (インドネシア)

北米へ
106人
北米から
9人

- アメリカ合衆国
- カナダ

中南米へ
1人
中南米から
12人

- メキシコ
- グアテマラ
- コスタリカ
- コロンビア
- ブラジル
- ペルー
- キューバ
- チリ

オセアニアへ
196人
オセアニアから
4人

- オーストラリア
- ニュージーランド
- ソロモン諸島
- フィジー

世界から広大へ

世界73カ国・地域から1,660人を受入 (平成30年5月1日現在)

学内で留学生と交流し、多文化共生を学ぶ
キャンパスでの多彩な国際交流

新入学外国人留学生サポーター制度

新入留学生の渡日後の住居手続きや大学生活のサポートをします。留学生の生活支援をしたい方、異文化コミュニケーションや国際交流に関心のある方は、ぜひ応募してください！

NOIE (国際交流ネットワーク)

国際交流を積極的に行いたい学生に、学内外の国際交流活動などに参加するための情報を提供しています。

国際交流イベント

留学生と日本人学生がキャンパス内で交流を深められるイベントを開催しています。

● Regional World Cooking

留学生が講師となり、出身国の伝統料理と一緒に作り食えることを通じて、世界各国の食文化を楽しみながら学べます(各学期に1回程度開催)。



● International Luncheon

お昼ご飯を食べながら交流を深めます。使用言語は自由で、語学力に関わらず気軽に参加できます(東広島キャンパス: 毎週木曜日昼休憩/学生プラザ1F、霞キャンパス: 第2火曜日および第4水曜日/コンビニMIDORI)。



● International Cafe

使用言語は自由で、語学力に関わらず気軽に参加できる場を設けています。(毎週火曜日18:00~20:00/学生プラザ1F)

● International Night (毎月1回)

留学生が自国の文化や歴史を紹介してくれます。日本人学生と留学生がお互いの文化について理解を深めることを目的とするイベントです。

● なるほど! Cross-Cultural Discussion

日本人学生と留学生が、さまざまなテーマについて主に英語でグループディスカッションをします(毎月1回程度18:00~20:00/学生プラザ1F)。

入 試

学部・研究科ごとに教育目的や目標に沿ったアドミSSION・ポリシーを掲げ、
一般入試のほか、個々の意欲や個性を尊重したAO入試、推薦入試などを実施します。

求める学生像

広島大学のアドミSSION・ポリシー（学士課程）

広島大学は、次のような人の入学を期待します。

- ❶ 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
- ❷ 知の探究・創造・発展に意欲のある人
- ❸ 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- ❹ 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科などでは、これらの人を受け入れるため、それぞれのディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性などに関連付けて明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

入試方式

高校生から社会人・中高年層まで、多くの人に広く門戸を開いています。

1

一般入試

前期日程

後期日程

大学教育を行う上で必要となる、主に高等学校で培われる教科・科目の学力を測るものです。ペーパーテスト方式の試験を中心とし、大学入学センター試験と個別学力検査の両方を用いて合否判定を行います。

2

広島大学光り輝き入試

AO入試

総合評価方式

- I型（センター試験を課さない入試）
- II型（センター試験を課す入試）
- III型（ゼミナール（授業）への出席を課す入試）

対象別評価方式

国際バカロレア入試・帰国生入試・
社会人入試・IGS入試

フェニックス方式

（中高年者を対象とした入学制度）

学問への関心、学ぶ意欲、基礎学力などを重視して評価するもので、小論文や筆記試験、面接・実技・プレゼンテーションなどを組み合わせて選抜します。自らの個性や特性をアピールできる入試方式です。

多様な学習背景を持つ人々を受け入れるため、国際バカロレア資格取得者（取得見込者）、帰国生、社会人または英語コース（IGS）で学ぶ力を持つ人を対象にしています。

生涯学習社会における大学の役割を果たすため、中高年者を対象とした入試方式も設けています。

推薦入試

推薦入試

医学部医学科推薦入試

（ふるさと枠）

面接や出願書類を重視して、幅広い学力や高校時代の主体的な活動の状況、成果などを多面的・総合的に評価する入試です。

地域医療を担う人材育成のために、広島県、岡山県の受験生を対象とした「ふるさと枠」を設けています。

3

私費外国人留学生入試

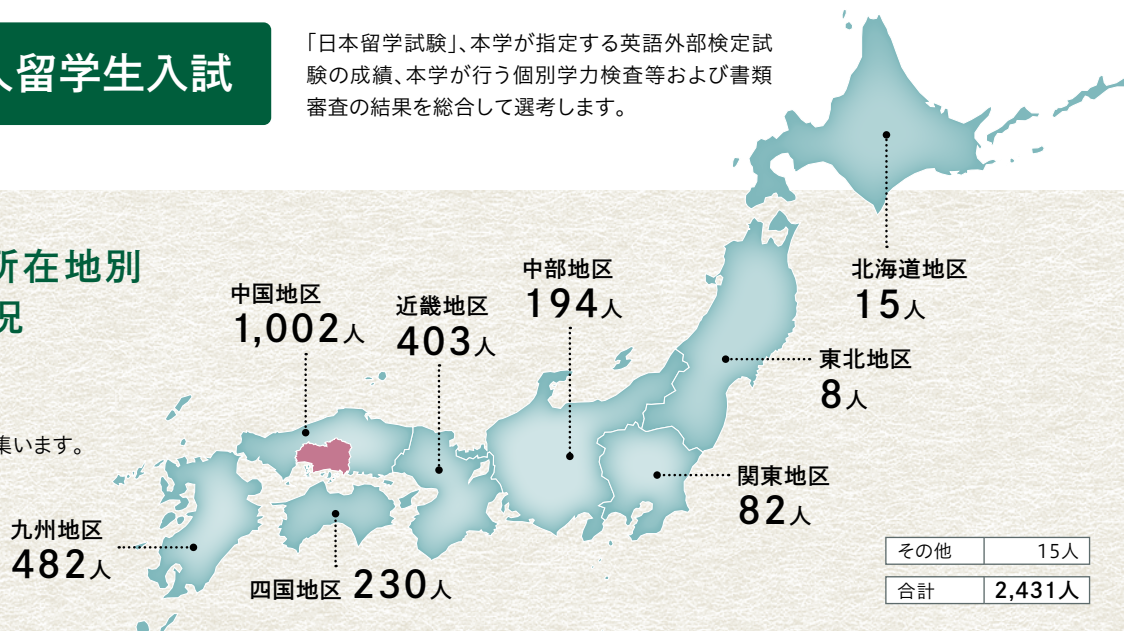
「日本留学試験」、本学が指定する英語外部検定試験の成績、本学が行う個別学力検査等および書類審査の結果を総合して選考します。

出身高等学校所在地別

学部入学者状況

（平成30年度）

全国各地から、確かな学力と豊かな個性を持った学生が集います。



学生支援

修学・生活・進路・経済面において、学生のニーズに応える支援体制の充実を図り、学生一人一人が実りあるキャンパスライフを送るためのさまざまなアプローチを用意しています。

キャリア支援

学部生から大学院生、若手研究者に至るまで、一貫したキャリア支援を目指し、多様なサポート制度を設けています。

1年次から活用できる進路・職業選択支援プログラム

- 学部1年生の必修科目「大学教育入門」での講義
- キャリアガイダンス(教養ゼミ)
- インターンシップ
- キャリア教養科目
- 大学運営支援業務の紹介

卒業(修了)前年次生からの就活支援プログラム

- 就職ガイダンス、セミナー
- キャリア相談・就職相談
- 就活支援ツアー
- 進路・就職システム(学生情報の森「もみじ」)による支援
- 就活ハンドブック配布

若手研究人材養成支援プログラム

- 広島大学特別研究員制度
- 企業見学会
- 実践プログラム提供
- 長期インターンシップ派遣
- 大学院生等対象人材セミナー
- 博士人材キャリア相談

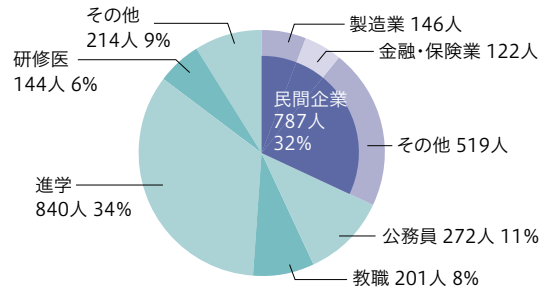
●グローバルキャリアデザインセンター

民間企業での人事・採用・教育・海外業務キャリアを持つ教員やアドバイザーなどのスタッフが、各学部・研究科などと連携を図りながら、留学生を含むすべての学生、若手研究者のキャリアデザインや就職活動を総合的にサポートします。

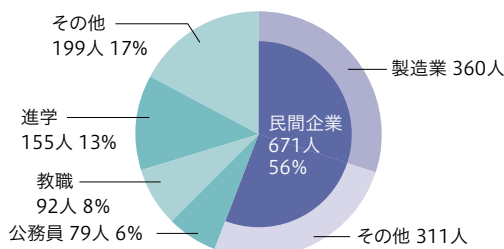


●就職状況(平成29年度卒業生・修了生)

学部(卒業生数2,458人)



大学院(修了者数1,196人)



主な就職先

〈企業〉マツダ、トヨタ自動車、村田製作所、日立製作所、パナソニック、富士通、三菱電機、広島建設、TOTO、LIXIL、明治、日本銀行、広島銀行、三井住友海上火災保険、NTTドコモ、中国電力、JR西日本、アクセンチュア、日本放送協会、ベネッセコーポレーション、双日

〈公務員〉広島県、広島市、愛媛県、熊本県、国税庁広島国税局、財務省中国財務局、国土交通省中国運輸局

〈教員〉広島県教育委員会、広島市教育委員会、滋賀県教育委員会、愛媛県教育委員会、兵庫県教育委員会 など

修学・生活支援

●チューター制

学生一人一人を担当する教員(チューター)を学科・コースごとに複数配置し、入学時から卒業まで、学習や生活の悩みなど、大学生活全般に関するサポートを行います。

●ピアサポートルーム

学生による学生のための相談室です。専門のカウンセラーから指導を受けた学生が学生(ピア)の大学生活上の疑問や悩みについて秘密厳守でじっくりと話を聴きます。必要に応じて学内外の専門機関の紹介も行います。

●アクセシビリティセンター

身体などに障害がある学生の修学サポート、アクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ)に関する助言、人材育成を行っています。平成18年より、「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を日本で初めてスタート。平成29年度までに本学を含む全国14大学、3企業、2行政から1,181人のアクセシビリティリーダーが誕生しました。

●保健管理センター

専門家によるカウンセリング・メンタルヘルス相談や、健康診断・診療・応急処置を行います。

経済支援

広島大学フェニックス奨学金・光り輝く奨学金

学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学や修学が困難な人を支援するため、独自の制度を設けています。

この他にも、学生が経済事情に関わらず安心して修学できるよう、さまざまな経済支援制度を整備しています。

●広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ

●入学科免除・徴収猶予制度

●授業料免除制度

●広島大学校友会 学生支援事業

●広島大学教育研究支援財団 学生支援事業

社会に開かれ、社会と共に

- 総合大学として
幅広い研究に対応する

共同研究・ 受託研究

企業などの研究者と大学の教員が共同で研究を行う「共同研究」や、企業などの委託を受けて教員が研究を行う「受託研究」を受け入れています。

平成29年度
受け入れ
実績件数

369 件

※研究費が発生していない案件を含みます。

- 組織的に連携し、
研究力を高める

包括研究協定

企業などの体系的・継続的な研究開発ニーズに対応できるよう、包括的研究協力を推進しています。

〈最近協定締結した企業等〉

創価大学 / 株式会社イズミ / サティアムベンチャーエンジニアリングサービスプライベートリミテッド / 全国健康保険協会広島支部 / 中国産業株式会社 / 早稲田大学 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 福島県

協定締結数
(平成30年8月末現在)

77 件

- 各種支援事業を展開

ベンチャー ビジネス 創出支援

- ◆ 起業のための研修・情報、活動資金提供
- ◆ インキュベーションオフィスの提供
- ◆ 大学知的財産利用の優遇
- ◆ 「ひろしまアントレプレナーシッププログラム」
シーズコース など

広島大学発
ベンチャーの
起業実績
(平成12～29年)

累計 59 社

- 学内に企業と共同で
研究拠点を開設

共同研究講座

企業などから経費、研究者などを受け入れ、本学からは研究者、施設・設備などを提供して、共同で研究の進展および充実を目指しています。

- ◆ 設置期間…2～5年(更新可)
- ◆ 企業と大学の協議による運営
- ◆ スタッフ…共同研究講座教授、共同研究講座准教授ほか※、本学教員(兼務)、ポスドクなど(必要に応じて)

※企業、大学、その他機関から選考。1人以上を配置。

共同研究講座
の設置数
(平成30年8月末現在)

15 講座

- 蓄積された知識・情報を提供し、
産業界の発展を支援

技術相談・企業訪問・ 研究協力会

技術的課題や将来の開発課題の相談を受ける「技術相談窓口」を設けています。また、研究協力会で産業界へのサービス強化に努めています。若手人材研修、出張講演、研究助成なども行っています。

共同研究などの成果として、
さまざまな技術や産学官連携商品が生まれています！

主な産学官連携事業

「組織」対「組織」の連携による
新たな価値共創型の共同研究および
人財育成の取り組み

コベルコ建機 夢源力共創研究所

民間企業等外部機関と共に広島大学内に共同研究組織を設置し、「組織」対「組織」連携による高度な相互理解と信頼を前提とした新たな価値共創型の共同研究および人財育成の推進を図ることを目的として「民間企業等外部機関の研究制度」を創設しました。その第一号として、広島大学とコベルコ建機株式会社による「コベルコ建機夢源力共創研究所」を2018年4月1日に広島大学内に開設しました。

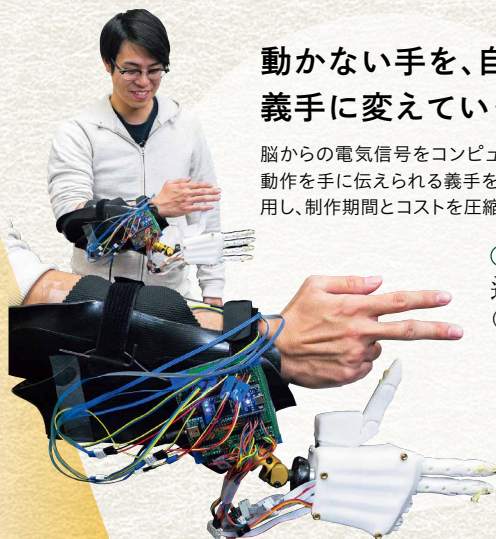
脳科学から感性を解き明かす、
新しい産学官連携の取り組み

広島大学 感性イノベーション拠点

地元企業、複数の大学および研究機関と共に、「こころ豊かな社会」の実現のために、最新の脳科学を応用して、人と人、人との感性(こころ)で繋ぐBrain Emotion Interface(BEI)の開発を目指しています。これまで客観的に評価することが困難とされていた「ワクワク」「イキイキ」「きれい」などの感性を、BEI技術を用いて可視化(見える化)し、定量化することで、個人の感性やニーズなどに対応した製品、サービスが提供できるようになり、衣、食、住、車、教育、医療など多様な分野において社会の大きな変革が起こると期待しています。

発展する大学へ

人をアシストする先進技術



動かない手を、自在に動かせる 義手に変えていく

脳からの電気信号をコンピュータが瞬時に判断して、動作を手に伝えられる義手を作成中。3Dプリンタを活用し、制作期間とコストを圧縮。

研究者

辻 敏夫 教授
(大学院工学研究科)



VRのちからを、 操作訓練や 開発設計へ活用

VRグラスの映像は、ミニチュア油圧ショベルから見える実映像と、仮想の運転室内空間が融合した仮想現実の世界。レバーを動かすとミニチュアが動き、本当にミニチュアに乗って操作しているかのよう。手軽に操作を学べ、視界その他の運転室内空間の開発設計への活用も期待できます。

研究者

栗田 雄一 教授
(大学院工学研究科)

共同研究から生まれた商品



マルチビタミンB12

かいわれ
(株)村上農園

国内初のビタミンB12を含む野菜。ビタミンB12は欠乏すると、悪性貧血、神経障害、動脈硬化などの原因となる必須栄養素です。

研究者 佐藤 一精 名誉教授



ハッサク菓 せとこまち

(株)しき堂

ハッサクにビタミンCや食物繊維が多く含まれることが調査で判明。ハッサクジャムを求肥(ぎゅうひ)で包み込み、上品な甘さとほのかな苦味がマッチした和菓子です。

研究者 平田 敏文 名誉教授
矢中 規之 准教授
(大学院生物園科学研究科)

べにふうき せとうちレモン

(株)上野屋本舗

瀬戸内を代表する果実であるレモンのスライスと、純国産紅茶の上級品種「べにふうき」をパッケージ。本学がパッケージデザインと商品のブランディングを担当しました。

研究者 八木 健太郎 准教授
(大学院教育学研究科)

アルタンNAハンドソープ アルタン(株)

カキタンニン(柿渋)の効果で手指を健やかに保つ手洗いせっけんです。きめ細かい泡で手のすみずみの汚れまでしっかり落とし、手指を清浄にします。

研究者 島本 整 教授 坂口 剛正 教授
(大学院生物園科学研究科) (大学院医歯薬保健学研究科)



UHAデンタクリア

味覚糖(株)

身近な"お菓子"で、日常の生活を送りながらも気軽に、お口の健康を整えていただける商品です。お菓子会社と共同で考えた新しいオーラルケア習慣をご提案します。



研究者 二川 浩樹 教授
(大学院医歯薬保健学研究科)

この他にも、食品・工業製品・医薬品など、多数の商品が誕生しています。

産業と密着！ゲノム編集技術の 限らない可能性への取り組み

JST産学共創プラットフォーム 共同研究推進プログラム(OPERA) 「ゲノム編集」産学共創コンソーシアム

バイオ産業、動植物の品質改良、健康・安全、生命科学研究などの分野で革新的な価値創造が見込まれているゲノム編集技術を対象として、基礎研究と応用研究を連続的に繋ぎます。

医療分野をはじめ 幅広く福島復興を支援

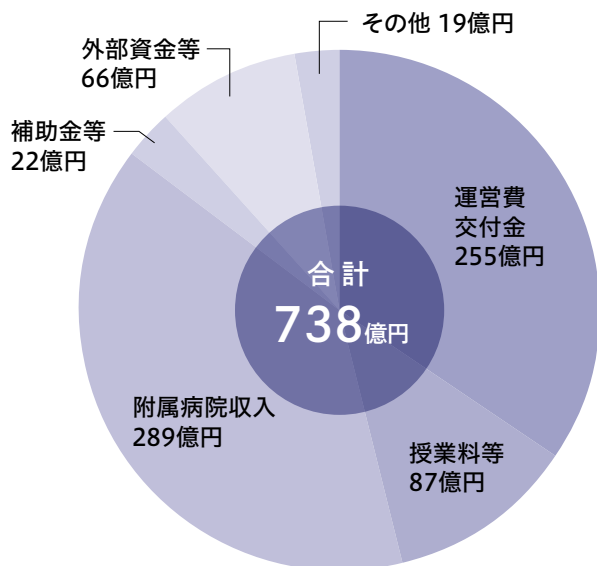
広島大学は、福島県と平成30年8月10日に包括連携協定を締結しました。東日本大震災から7年が経過する中で、福島県民の医療・健康管理の支援に加え、人材育成や情報発信、震災アーカイブ拠点施設に対する助言などに協力します。



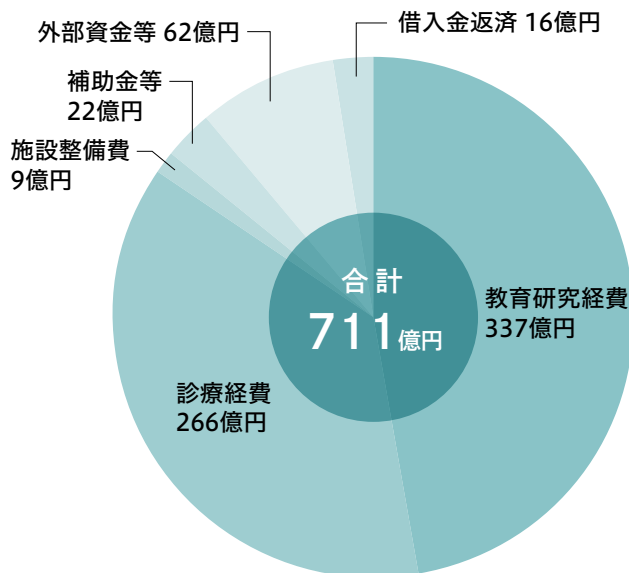
教育・研究活動のさらなる発展を見据え、
国から交付される運営交付金や授業料などを効率的に運用しています。
また、各種基金を設立し、学生支援事業に活用しています。

広島大学の収支状況 (平成29年度)

【収入】



【支出】



※表示単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合があります。

基金

広島大学では、経済的な理由を抱える学力優秀者への修学支援や、外国人学生・日本人学生の留学支援などを目的に寄附金制度を設立し、各種事業を展開しています。法人・個人とも寄附金額に応じた税制上の優遇措置があります。また、一定額以上のご寄附をいただいた方のご厚意に対して、顕彰や記念品をご用意しています。

「広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金」(広島大学75+75周年に向けて)がスタートしました。

白鳥学校創立以来、75年の前史を経て開学した広島大学は2024年、創立75周年の節目を迎えます。このたび、「広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金」(広島大学75+75周年に向けて)を設立し、広島のにイノベーションを創出させる事業経費に充てるための寄附募集を行うこととしました。従来の学生支援事業や国際交流事業に加えて社会貢献事業、教育研究環境整備事業、研究支援事業の支援も充実させていきます。

広島大学基金 (平成19年度創設)

世界トップ100の総合研究大学を目指し、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、学生支援事業、研究支援事業を実施しています。

1 フェニックス奨学金・ 光り輝く奨学金

経済的理由で進学・修学継続が困難な学力優秀者に月額10万円を給付する、本学独自の奨学制度です。

●採用者数(平成20～30年度)…88人

2 STARTプログラム

海外経験の少ない学部1年次生を対象に、海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費の一部を支援します。

●派遣者数(平成22～29年度)…1,082人

3 大学院学生のための 国際学会発表支援

海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進します。

●派遣者数(平成23～29年度)…1,212人

広島大学冠事業基金 (平成27年度創設)

ご寄附をいただいた方のご芳名などを冠して、世界をキャンパスとして展開するために留学生・日本人学生を支援する事業を実施しています。

1 外国人留学生への奨学金

外国人留学生を数多く受け入れ、グローバルキャンパスを実現するために、渡日前に奨学金の受給が決定する広島大学入学前奨学制度を設けています。

2 日本人学生の海外留学支援金

グローバルに活躍できる「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、日本人学生の海外留学の支援金制度です。

広島大学では、世界のトップ研究者による講演やディスカッション、さまざまな分野で活躍中のリーダーによる講義など、学生の意欲を刺激する場を多彩に設けています。

広島大学から世界へ ～世界のトップ研究者に聞く～

ノーベル賞受賞者を中心に世界の最先端に行く研究者をお招きし、講演やディスカッションを継続的に開催しています。未来の科学者を目指す学生たちにとって、世界を驚かせた発見や研究を間近に体感できる貴重な機会となっています。

第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日)



ジョン・ガードン 博士

英国ケンブリッジ大学
ウエルカムトラスト英国癌研究基金
ガードン研究所教授

2012年
ノーベル生理学・医学賞



山中 伸弥 博士

京都大学iPS細胞研究所長

2012年
ノーベル生理学・医学賞

第3回「知のフォーラム」(2017年4月5日)



ポール・ナース 博士

英国フランス・クリック
研究所長

2001年
ノーベル生理学・医学賞

第86回広島大学講演会 (2018年3月27日)

ムハマド・ユヌス 博士

グラミン銀行(バングラデシュ)創立者

2006年
ノーベル平和賞

第2回「知のフォーラム」(2016年11月29日)



梶田 隆章 博士

東京大学宇宙線研究所長・
東京大学特別荣誉教授

2015年
ノーベル物理学賞

広島大学情報科学部・総合科学部国際共創学科設置記念講演会 (2018年5月16日)



大隅 良典 博士

東京工業大学科学技術創成研究院
荣誉教授

2016年
ノーベル生理学・医学賞

世界に羽ばたく。教養の力 ～世界で活躍するリーダーに学ぶ～

教養教育の一環としてスポーツ・芸術・科学・ビジネスなど各界で活躍中のリーダーを講師としてお招きし、学部新入生を主な対象とする講義を開講しています。各界のトップに立って活躍する講師たちの視点や歩みに触れ、大学生活の目標や将来の夢を考えるスペシャル講義です。

2018年度講師 (4月18日～5月23日開講)



高岡 浩三 氏

ネスレ日本株式会社
代表取締役社長兼CEO



深山 英樹 氏

広島商工会議所 会頭
広島ガス株式会社 相談役・名誉会長



池谷 裕二 氏

東京大学薬学部教授



中丸 三千繪 氏

オペラ歌手
(マリア・カラス・コンクール優勝)



不破 亨 氏

湧永製薬株式会社
前取締役副会長



伊東 豊雄 氏

建築家



野村 謙二郎 氏

広島東洋カープ 前監督



モーリー・ロバートソン 氏

国際ジャーナリスト



川淵 三郎 氏

Jリーグ初代チェアマン
サッカー日本代表 元監督



弘兼 憲史 氏

漫画家



湯崎 英彦 氏

広島県知事

(五十音順)

CAMPUS GUIDE

“広大”で緑豊かな東広島キャンパス、
国際平和文化都市・広島市にある霞キャンパス・東千田キャンパスの3キャンパスで構成される広島大学。
それぞれのキャンパスでは、多くの学生がサークル・クラブ活動に打ち込み、
また学習や研究活動、学生生活を支える多彩な施設や制度のもと、
充実したキャンパスライフを送っています。



広島大学カレンダー

4月

春季休業／入学式／
オリエンテーションガイダンス／
第1ターム授業開始

5月

6月

フェニックスコンサート／
第2ターム授業開始

7月

ゆかたまつり

8月

夏季休業／オープンキャンパス

9月

中国五大学学生競技大会(夏季大会)
秋季学位記授与式

10月

秋季入学式／第3ターム授業開始／
フェニックスリレーマラソン

11月

創立記念日／大学祭(東広島キャンパス)／霞祭(霞キャンパス)／
ホームカミングデー／中国五大学学生競技大会(冬季大会)／
広島大学光り輝き入試(AO入試・推薦入試)／第4ターム授業開始

12月

冬季休業

1月

大学入試センター試験

2月

学年末休業／
一般入試(前期日程)

3月

学位記授与式(卒業式)／
一般入試(後期日程)



クラブ & サークル

広島大学では、全国大会に優勝経験のあるクラブから、趣味を楽しむサークルまで、240以上もの団体が活動中です!

なお、平成30年度には、35年ぶりに全日本大学野球選手権大会に出場した硬式野球部をはじめ、ほか4団体が全国大会への切符をつかみました(平成30年8月時点)。



主な活動実績(平成29年度)

●水中ホッケーサークル

水中ホッケー日本選手権大会
男子の部／3位 女子の部／優勝

●体育会陸上競技部

日本学生陸上競技会個人選手権大会
女子10000m競歩／8位

●体育会漕艇部

全日本大学選手権大会
男子舵手なしシオドルブル／6位

詳しい情報はこちらから!

広島大学ウェブサイト

教育・学生生活・就職 ▶

学生生活 ▶

クラブ・サークル・ボランティア ▶

課外活動(クラブ・サークル)紹介

※ホームページを作成・公開していないクラブ・サークルもあります。ご了承ください。

広島大学の諸施設



サタケメモリアルホール 〈東広島キャンパス〉

大学創立50周年を記念して建設されました。グランドピアノをイメージした外観が美しいホールです。学会などの学術交流をはじめ、音楽や演劇などの芸術活動、地域の方々との交流など、多目的に利用されています。

スペイン広場 〈東広島キャンパス〉

総合科学部近くにある半円状の広場で、名前の由来はイタリア・ローマにあるスペイン広場。日々大勢の学生が行き交う、東広島キャンパスの賑わいスポットです。



la place 〈マーメイドカフェ広島大学店〉 〈東広島キャンパス〉

フランス語で「広場」を意味する「la place」(ラ・プラス)。天井と壁面から自然光が差し込む明るい店内は、北欧の雰囲気漂うカフェ＆ベーカリー。無線LAN対応で、ノートPCやタブレットを持ち込めます。

総合博物館 〈東広島キャンパス〉

広島大学総合博物館は、本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館とそれらをつなぐ「発見の小径(東広島キャンパスの広大な敷地を利用した自然散策道)」で構成されたキャンパスまるごと博物館です。常設展示の他に、企画展などのイベントも開催しています。

● 本館

広島大学の紹介や、貴重な化石・剥製、地域の環境や文化に関わる資料を展示する総合博物館の中心施設で、「大学の歴史」「宇宙・地球」「里海」「里山」の4つのゾーンで構成しています。また全館のインフォメーションセンターの役割も担っています。



東広島キャンパスや周辺地域に生息する鳥類・哺乳類の剥製・骨格標本も展示しています

● サテライト館

各学部やセンターの専門的な研究内容を展示・紹介しています。埋蔵文化財調査部門・生物圏科学研究科・理学研究科・文学研究科・中央図書館の5カ所に設置しています。



埋蔵文化財調査部門サテライト館

● 発見の小径

四季折々の自然の移り変わりを楽しむとともに、東広島キャンパス内に生息する、絶滅危惧種を含む多様な生物や、先史時代以降の多数の遺跡を見ることができます。



詳しい情報はここから！

[広島大学ウェブサイト](#)

[一般・地域の方](#)

[図書館・博物館・文書館等](#)

学生が 東広島キャンパスを 案内します！



学外の方々を対象に、東広島キャンパスの魅力を発信し広島大学を身近に感じていただくために、学生による「キャンパスガイド」を行っています。毎週金曜日に開催する「レギュラーガイド」をはじめ、団体向けの「臨時ガイド」、季節や行事に合わせた「特別ガイド」などがあります。

詳しい情報はここから！

[広島大学ウェブサイト](#)

[一般・地域の方](#)

[広島生によるキャンパスガイド](#)

図書館

広島大学図書館は5館で構成され、総蔵書数は約349万冊と、全国有数の規模を誇る図書館です。パソコン操作によって本を自動的に取り出せる「自動書庫」も備えています。また、江戸時代から現在までの教科書のコレクションをはじめ、数多くの貴重な資料を所蔵しています。

●施設概要(平成30年現在)

図書館名・所在地	面積	閲覧座席数	蔵書冊数	主な蔵書
中央図書館	16,641㎡	992席	約228万冊	人文・社会科学、教育科学、自然科学系の図書・雑誌
東図書館	3,442㎡	277席	約34万冊	自然科学系(主に工学、生物科学)の図書・雑誌
西図書館	6,335㎡	412席	約62万冊	全科の教養、学習参考図書・雑誌
霞図書館	2,382㎡	348席	約20万冊	医学、生命科学系の図書・雑誌
東千田図書館	685㎡	81席	約6万冊	法学、経済学の図書・雑誌

●利用できるデータベースとサービス

新聞記事や雑誌記事検索などの各種データベースをはじめ、映画や音楽、語学学習用ソフトなどの視聴覚資料がご利用いただけます。また、学習や研究に必要な資料・情報などの入手を、図書館スタッフがサポートします。

●自由な学びの場 BIBLA(ビブラ)

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習ができるスペースや設置されたパソコンを前にじっくり自習ができるスペースなどがあります。自由に使える移動式のホワイトボードや図書資料を広げてもゆったり使える書斎のようなデスクが人気です。また、霞図書館のBIBLAは霞キャンパスの学生に限り24時間利用することが可能です。



●ライティングセンター

授業の課題やレポートなど、文章の書き方で困った学生の相談に対応しています。文章指導の専門的な研修を受けた大学院生のチューターが、対話やブレインストーミングを通して、よりわかりやすい文章を作成できるようにサポート。英語論文の相談も受け付けています。



24時までの開館時間延長(授業期平日)に伴い、平成30年7月2日よりカフェコーナー(la la Cafe)をオープンしました。ネスレ日本の協力により、生協などの施設が閉まった後でもリフレッシュできる空間を図書館の玄関横に設置しています。



詳しい情報はこちらから！

広島大学ウェブサイト

一般・地域の方 ▶

図書館・博物館・文書館等

東千田未来創生センター

〈東千田キャンパス〉

広島市内の霞キャンパスで学ぶ医療系学部の学生への教養教育の実施とともに、将来的には、社会人大学院生の教育や広島市内の他大学との共同利用も想定しています。



医学資料館〈霞キャンパス〉

戦時中に、広島陸軍兵器補給廠(ほきゅうしょう)の兵器庫として使用されていた旧医学資料館を1999(平成11)年に解体後、ほぼ同じデザインで再建されました。現在の建物には、旧医学資料館のレンガの一部や窓などが再利用されており、被爆建物に指定されています。



リーガル・サービス・センター〈東千田キャンパス〉

法務研究科(法科大学院)の社会貢献の機能を担う部門として、2005(平成17)年に開設され、民事事件についての無料法律相談を毎週1回行っています。

病院〈霞キャンパス〉

広島大学病院は、「全人的医療の実践」「優れた医療人の育成」「新しい医療の探求」を理念に掲げ、中国・四国地域の中核医療機関として、急速な進歩を続ける医学に対応する先進的な医療を提供しています。



●地元プロスポーツチームとの連携

広島東洋カープ、サンフレッチェ広島などプロスポーツチームの拠点となっている地域性を生かし、これらのチームと積極的に連携し、新入団選手の体力測定や選手の日常的な健康管理指導などを通して、競技パフォーマンスの向上に貢献しています。



●ファミリーハウスの設置

広島大学病院は、厚生労働省より平成25年2月に中国・四国ブロックで唯一の小児がん拠点病院に指定され、広島県を中心として、小児がんや難病の子どもさんを受入れ造血幹細胞移植を含めた先進医療を行っています。治療には長期入院が必要となるため、経済的な負担等を少しでも軽減できるよう、患者・家族が利用できる滞在施設として建設しました。



詳しい情報はこちらから！

広島大学ウェブサイト

一般・地域の方 ▶

大学病院

数字で見る広島大学 (平成30年5月1日現在)



沿革

広島大学は、日本で最も多くの前身校(9校)を持つ大学です。広島高等師範学校(明治35年創設)、広島文理科大学(昭和4年創設)、広島工業専門学校(広島高等工業学校として大正9年創設)、広島高等学校(大正12年創設)、広島女子高等師範学校(広島高等女学校として明治20年創設)、広島師範学校(白島学校として明治7年創設)、広島青年師範学校(広島県実業補習学校教員養成所として大正11年創設)の7校を包括し、広島市立工業専門学校(昭和20年創設)を併合して新制広島大学は誕生しました。昭和28年には、新制広島医科大学(広島県立医学専門学校として昭和20年創設)を併合しました。

1874 (明治7)年～

●前身諸学校の創設

1945 (昭和20)年

●広島市に原子爆弾投下

1949 (昭和24)年

●新制国立大学の1つとして、
広島大学創設(6学部・4分校・1研究所)

1950 (昭和25)年

●広島大学開学式
●初代学長の森戸辰男が広島大学を
「自由で平和な一つの大学」に
することを表明

1953 (昭和28)年

●県立広島医科大学を併合
●大学院を設置(3研究科)

1956 (昭和31)年

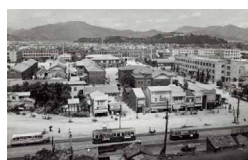
●広島大学学章を制定

1957 (昭和32)年

●広島大学歌を制定

1972 (昭和47)年

●評議会が統合移転を決定



1982 (昭和57)年

●東広島キャンパス開校

1995 (平成7)年

●統合移転完了
●広島大学の理念5原則を公表

1999 (平成11)年

●創立50周年

2002 (平成14)年

●中国・北京に初の海外拠点を設置

2004 (平成16)年

●学部卒業生10万人を突破
●国立大学法人広島大学発足

2006 (平成18)年

●到達目標型教育プログラムを導入

2009 (平成21)年

●創立60周年

2010 (平成22)年

●学生プラザを創設

2016 (平成28)年

●東千田未来創生センターを創設

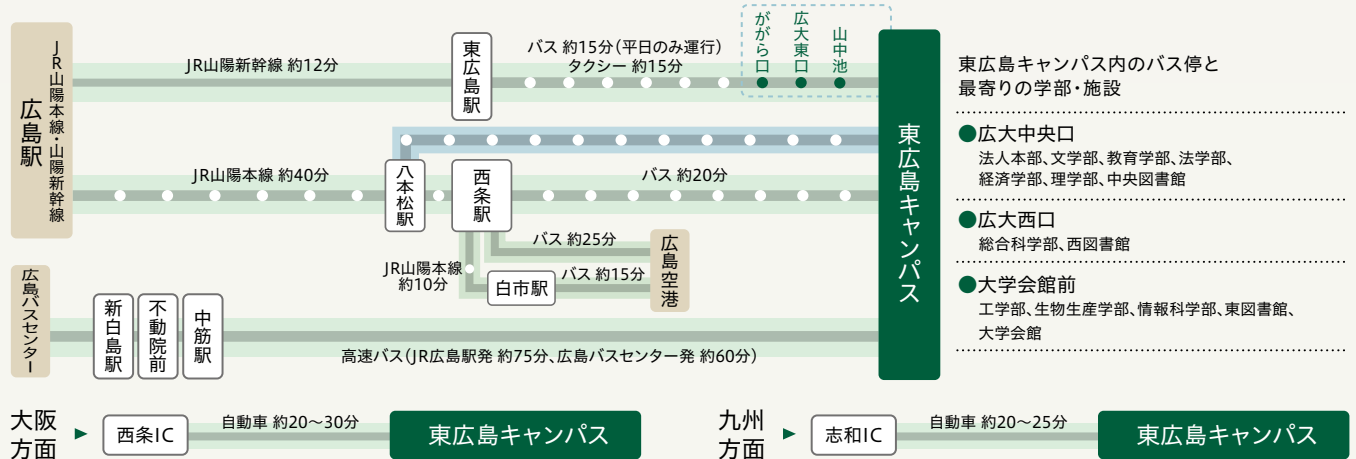


立地・アクセス

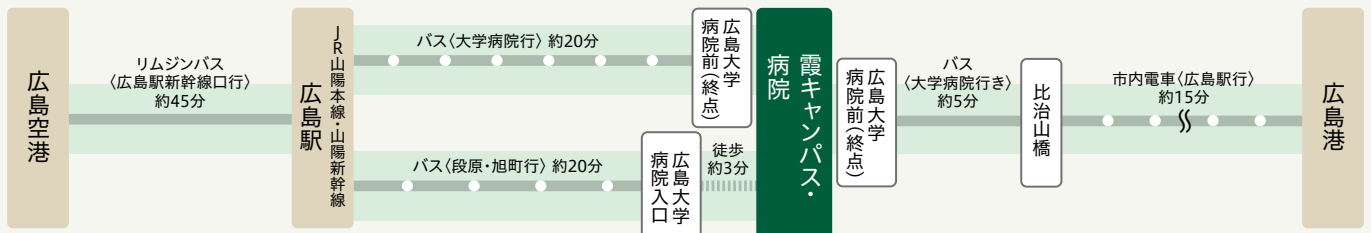
平和を希求する歴史的背景を持つ広島県。美しい瀬戸内海と豊かな緑に囲まれたキャンパスで、学生たちは伸びやかに自らの学びを追求しています。



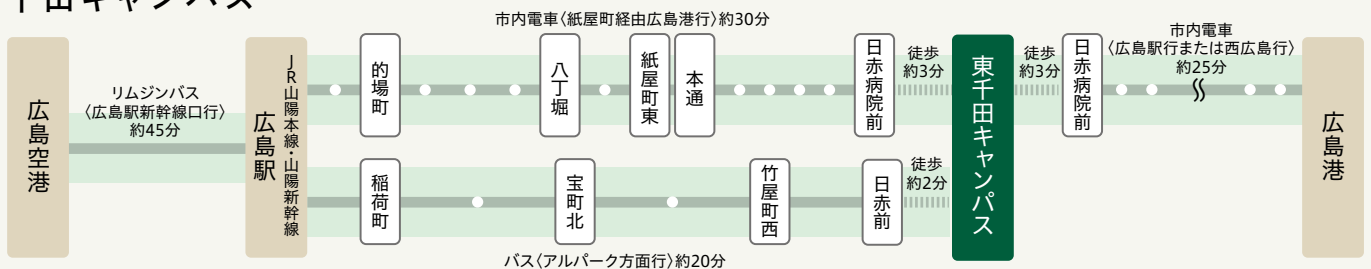
東広島キャンパス



霞キャンパス・病院



東千田キャンパス



詳しい情報はここから！

[広島大学ウェブサイト](#)

[トップページ](#)

[交通アクセス](#)

100年後にも世界で光り輝く大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR
FOR YEARS INTO THE FUTURE



広島大学



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN



HIROSHIMA UNIVERSITY
The Program for Promoting the Enhancement of Academic Excellence

広島大学財務・総務室広報部広報グループ

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-3701 FAX.082-424-6040

E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp

ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp>



このパンフレットは環境に優しい
「植物油インキ」を使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。